



NPO Honokuni  
Forestry Association  
**Forest**

**フォレスト** NPO (特定非営利活動法人)  
Vol. 117 **穂の国森づくりの会**

〒440-0888  
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地  
太陽生命豊橋ビル2F  
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276  
E-mail./ honokuni@honokuni.org  
https://www.honokuni.org/

新型コロナウイルスによる行動制限が解除されて以降、今までが幻であったかのようにイベントへの出展、企業の森づくり活動が増加しました。特に今年度の秋は、過去最高レベルの忙しさでした。事業が順調に復調し、本当にありがたい限りです。

さて、特定非営利活動促進法（NPO法）が施行され25年余りになります。その間に「NPO」という言葉はすっかり世間に浸透しましたが、残念ながら「その活動内容と実態」の認知度は、まだ著しく低いようです。

事業の復調に合わせて、会の認知度と情報発信を向上させる大切さをあらためて実感しました。フォレストも充実させないと。

(もりみの)

## 『穂の国シュタムティッシュ』始めました！

コロナ禍で、総会後の定例交流会など会員、関係者の皆さんと交流する事業が開催できず、あっという間に約4年の月日が過ぎてしまいました。

そこで、新型コロナウイルスによる行動制限が解除されたことを機会に、新たな交流の場を模索して始まったのが「穂の国シュタムティッシュ」です。

シュタムティッシュ(stammtisch)とはドイツ語で「常連のテーブル」、「常連の会合」などという意味の単語です。森林(林業)先進国ドイツにちなんで名付けました。

さて、この事業の案内についてはフォレスト前号(Vol.116)でも紹介したとおりですが、毎月第2金曜日、場所は豊橋市大橋通3丁目にある「ビアホール独逸」で開催しています。シュタムティッシュには「常連の」という意味がありますが、会員の有無を問わず、どなたでも参加することができます。新規参加者大歓迎です。

7月から開催していますが、今のところ毎回2テーブル10名程度で集まって交流を図っています。今までの交流会と違って初参加の方が多いのが特徴的です。

森づくりやアウトドア、生き物の話はもちろんですが、映画や他業種の裏話など、他の話で盛り上がることもしばしば。この話がもととなり、マンネリ化しつつある会の事業に新たな事業が誕生するかもしれません。これもこの事業の目的で、異業種交流によるコラボレーション事業なども視野に入れていきます。

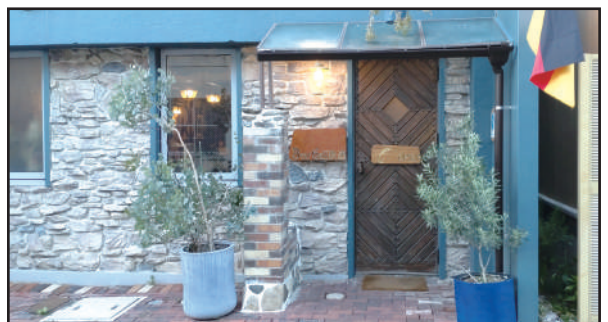
まずは、こじんまりと開催していますが、将来的には人数を増やしていければと考えています。事前予約不要です。お酒が飲めなくても大丈夫です(私はお酒を飲んだり飲まなかったり、その日の気分です自由にしています)。ご参加お待ちしております。

今後の予定は、本誌4ページをご参照ください。

(もりみの)



▲ 開催の様子



▲ 豊橋駅から徒歩15分弱



# 穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その27  
「作手高原」  
中西 正

## 新緑の作手高原を歩く

2013.5.12

今回の観察会は文殊山と清岳向山湿地で、たいへんまとまりのいい地域だ。作手は植林の割合が多く、その中から興味ある自然を拾いだすことになる。それは林道沿いだったり、沢沿いだったりする。植林地の中でも、小さな群落で本来の自然が残ることがある。文殊山の中にもコナラ群落があったりモミ群落があったりして、そこはスギ、ヒノキ林とは異なった雰囲気を持っている。今回の講師は内藤信司先生だった。

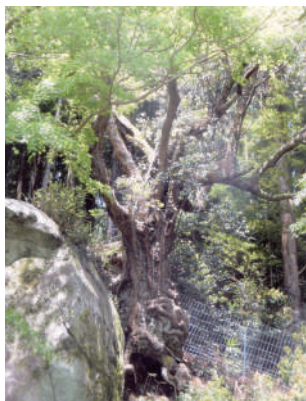
山に入る前の林道沿いにはコアジサイやコバノガマズミ、タチツボスミレが見られた。山に入るとそこは植林地で暗く、トウゲシバやアセビ、ササになった。文殊山の頂上からは主に南と西側の景色が見られるが黒く見える植林地がほとんどで、今新緑の落葉樹の場所はほんのわずかである。善福寺までの下りは南側の斜面で、スギ・ヒノキ植林であっても手入れがされているためか林床は明るい。低木にはシロモジ、クロモジがあり、草本にはエンシュウハグマ、ヒトリシズカ、リョウメンシダなどが見られる。お寺に近くなるとナベワリが生えている。ただこのコースには植栽したものが多く、西洋シャクナゲも問題だが、これは植栽したということはすぐわかる。しかし、ヒメシャラ、ナツツバキ、コブシといったものは日本に自生するものだけにいつか間違った理解がされるかもしれない。自然の中への植栽は余程気を付けなければいけないだろう。

このコースには巨樹が見られる。文殊山の頂上にはブナの大木があり、県下一ともいわれている。樹形は箒状で幹も太い、この標高で自生も考えにくいので植栽ではないだろうか。



▲ 文殊山のブナ

善福寺には市指定天然記念物のポダイジュが植えてある。周囲のスギが大きいためにあまり大きく感じないが樹高15m、幹回り1.35mという。お寺の東側には仏頭岩とそれを守るように根を下ろした雲龍ガシがある。アカガシで樹高20m、幹回り4mで樹齢は200年という。また、お寺の道から県道に出るあたりには県指定の天然記念物「須山のイヌツゲ」がある。樹種が樹種だけに樹高は5mと高くないが幹回りは1.2mで、樹齢は数百年という。頂上付近ではヒノキの切り株で122年、直径43cmのものがあつた。



▲ 仏頭岩と雲龍ガシ



▲ 清岳向山湿地

食事後は清岳向山湿地を見学した。この湿地は広大であった旧大野原湿原の一部が残った場所である。ここは後世に残したい湿地百選に選ばれ、面積は0.4haある。この湿地には「守る会」の人たちが木道を敷いている。植生の多くは中間湿地として捉えられヌマガヤ群落、ミカズキグサ群落などである。そこには、ミカズキグサ、ミズギボウシ、ミズギク、モウセンゴケなどが見られる。ヨシやサワギキョウが生える低層湿地部にはヒメシロネやマアザミなどがある。木本が主体のノリツギ群落にはサクラバハノキやネジキなどが生えている。レンゲツツジもこの群落中に生えており、濃い橙色の花をつけていた。木道は安全で、湿原を傷めずに観察できるものであり、ここからでもミカワバイケイソウやミカワシオガマも見ることができる。作手には、この湿地を含め貴重な中間湿地群があるが、「守る会」の人たちはラムサール条約指定に向けて頑張っているということだ。(2003.10.19、2010.6.6、2015.10.4にも同じテーマで行った)



▲ レンゲツツジ





# 会員さんの森づくり探訪

シリーズPart21

物語コーポレーションさん

株式会社物語コーポレーション(本社:愛知県豊橋市)さんは、「焼肉きんぐ」や「丸源ラーメン」など数々の外食チェーン店を全国展開している、皆さんもご存じの会社かと思います。

2022年6月に「サステナビリティ基本方針」を策定。また、2022年7月に「サステナビリティ委員会」を設置し、温室効果ガス排出量削減および温室効果ガス排出量ゼロに向け、店舗照明のLED化推進など、温室効果ガス削減に取り組まれているそうです。

その一環として、2023年11月をサステナビリティに関する理解と行動変容を促すことを目的とした「物語サステナビリティ月間」として、植林活動や国産で間伐されたヒノキを使用した「サステナビリティバッジ」の着用、フードロスへの取り組み等の社内啓発活動を実施されました。

植林活動は、インドネシアの南デンパサール スウォン・カウ地区にあるマングローブ林と当会が管理する「穂の国石巻の森」で行われました。

「穂の国石巻の森」では、11月21日に活動が実施され、

食害などの影響によりぼつんと開けた約100㎡の場所に、シイ、タブ、カシ類などの常緑広葉樹など80本を5名の社員の方々に植樹いただきました。

今後も、植樹した苗木の周りの草刈りなど、継続的に「穂の国石巻の森」の森づくり活動に取り組んで下されます。この森で多くの社員の方々にサステナブルな森づくりの重要性を感じていただければと考えています。末永くよろしくお願い致します。(もりみの)



## ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～ (その6)

### 赤トンボの仲間たち

夏の終わりから秋にかけて野山に出かけると赤トンボを見かけます。一般的には、ひとくくりに赤トンボとまとめられてしまいがちですが、実は身体が赤いトンボはたくさんいます。その代表格がアカネ(茜)と名がつくトンボではないでしょうか。

ウッドパーク平尾では、アキアカネ、ナツアカネ、マユタテアカネ、ヒメアカネ、リスアカネの5種のアカネ名の赤トンボを確認しています。さらに、コノシメトンボと呼ばれる赤トンボもいます。以上6種は、トンボ科アカネ属の仲間たちです。

アキアカネとナツアカネは、よくテレビなどの映像で登場するので説明は省きます。マユタテアカネは、顔面眉毛のような黒い斑点がついています。この眉状斑が名前の由来です。ヒメアカネは、その名のごとく他のアカネより小さく、顔面が白いのが特徴です。リスアカネは、動物のリスではなく、スイスの昆虫学者「F.Ris」の名前に由来します。コノシメトンボの名前は、和服の「熨斗目(のしめ)」から名付けられています。

これらのアカネ属の仲間たちは、秋の天気の良い日に出かけると、たくさん観察することができます。追っかけなくても、じっとしていれば身体に2匹くらいとまってくれます。

アカネ属以外にも、ネキトンボという赤トンボも観察できることがあります。特にオスは、頭先の腹部の先まで鮮やかな赤色で、アカネ属のトンボより目立ちます。

半年以上先ですが、今秋ウッドパーク平尾で赤トンボを観察してみてください。(もりみの)



▲ アキアカネ♂



▲ マユタテアカネ♂



▲ ヒメアカネ♂



▲ ネキトンボ♂

# イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。  
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。  
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

定期開催しています!

## 「穂の国シュタムティッシュ」

●毎月第2金曜日 (変更の場合もあります)

令和6年：4月12日、5月10日、6月14日、  
7月12日、8月9日

時間：午後6時半から午後8時半

場所：「ピアホール独逸」豊橋市大橋通 3-144

対象：どなたでも

事前申込：不要

会費：実費 (3,500 円程度)



### 【参加について】

森づくり、アウトドア活動、スポーツなど、自然が好き  
な方々であれば誰でも参加可能です。自分の活動の告  
知や仲間集め、こんな企画をやってみたいとか、単にお  
酒が飲みたいだけでもご参加OK。特に議題は決める  
ことなく、お酒を酌み交わしながら今後の活動のヒント  
がお互いに得られればという、ゆるい会です。

定期活動やっています!

## 「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日 (変更の場合もあります)

令和6年：3月16日、4月20日、5月18日、  
6月15日、7月20日、8月17日

集合：午前10時にウッドパーク平尾

※初参加の方は、事務局へご連絡ください。

詳しい場所などをお知らせ致します。

終了：午前11時半頃(その後は自由解散です)

対象：個人会員(家族でご参加歓迎)、団体企業会員

作業内容：草刈り、ピオトープ整備、生物観察、  
健康づくり講座、ピザ焼き体験など

持ち物：長靴、軍手、飲料、タオルなど

その他：雨天中止の場合は、前日の11時の天気予報  
で決定し、ご連絡します。ご参加の方は事前  
に事務局にご連絡ください。

## 森づくりベンダー新規設置のご紹介

設置協力企業名	イノチオホールディングス(株)
設置場所	豊橋市向草間町(本社1階フロアー)

### 森づくりベンダーの設置にご協力いただき ありがとうございます。

森づくりベンダー設置にご協力くださる企業・  
団体様を大募集しています。CSR活動や福利  
厚生の一環として是非ご活用ください。

詳しくは、本会ホームページをご覧ください。



## 寄付をいただきました。

### 加山興業株式会社様



オリジナルラインスタンプ「テラノさんの  
グリーンスタンプ by KAYAMA」のスタ  
ンプの売上全額、その他環境配慮型商材  
の売上一部を寄付していただきました。

「テラノさんのグリーンスタンプ」は  
こちらからご購入いただけます。



私たちと一緒に森へいきませんか?  
穂の国森づくりの会会員大募集!!  
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなた  
でも会員になることができます。  
会費：個人会員1口・3,000 円/団体企業会員：1口・12,000 円  
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで  
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org